

保護者 様

新宿区立落合第三小学校

校長 服部 みどり

平成27年度 学校評価の集計結果について

寒さもようやく衰えはじめましたが、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、保護者の皆様には、昨年末に学校評価のアンケートをお願いいたしました。ご多用の時期にもかかわらず多くの方にご協力いただきました。改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

集計結果をまとめましたので、ご報告いたします。学校では、今回いただいた保護者・地域の皆様からのアンケート結果やご意見等も踏まえ、来年度のカリキュラムや各種教育活動の検討をまいります。多数のご意見をいただいたものなどについては、可能な限り具体的に反映していきたいと考えています。

今後も本校の教育活動に、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- あてはまる
- だいたいあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- わからない

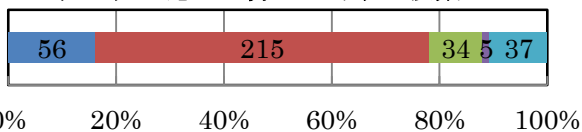
児童数383名・提出数347枚

○「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせて80ポイントを超えた項目については、それなりに成果があったものと考えます。

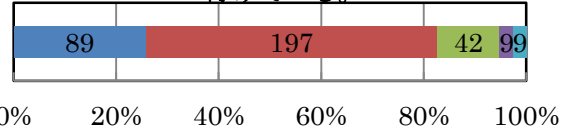
○「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を合わせて20ポイント以上の項目については、次年度本校の取り組みの中でさらに工夫していく必要のあるものと考えます。

○「わからない」が20ポイントを超えている項目は、もっと保護者の方々に知っていただけるように努力していく必要のあるものと考えます。

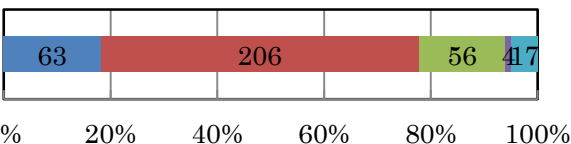
1.学校は確かな学力の向上に向けて、一人一人に応じた分かりやすい授業を…



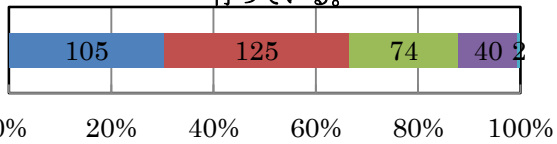
2.我が子は基礎的・基本的内容を身に付けている。



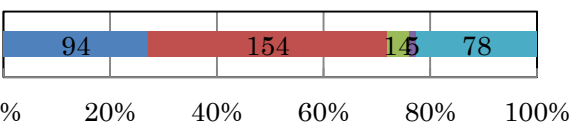
3.我が子は各授業によって「考える、話す・聞く、表現する」等の力が育ってきている。



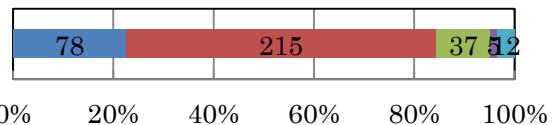
4.我が子は家庭で相談して決めた時間（目安：学年×10～15分程度）の学習を、毎日行っている。



5.学校のICT機器（パソコンやプロジェクター）を活用した授業は、効果的である。



6.通知表はお子さんの学力や生活の様子がよく分かる。



《傾向と分析、新年度方針について》1～6の項目について

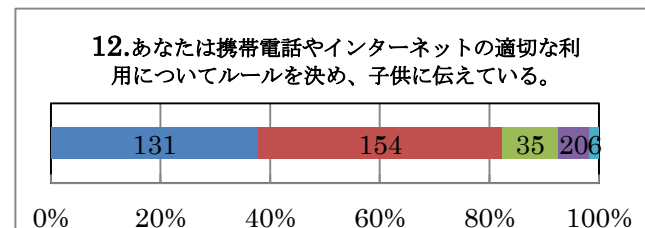
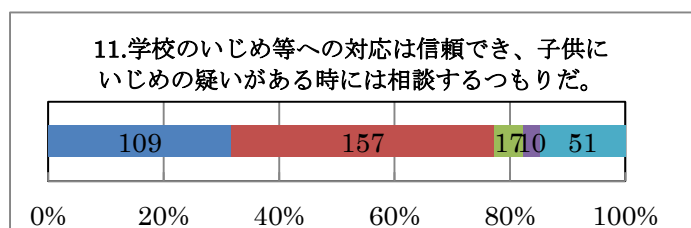
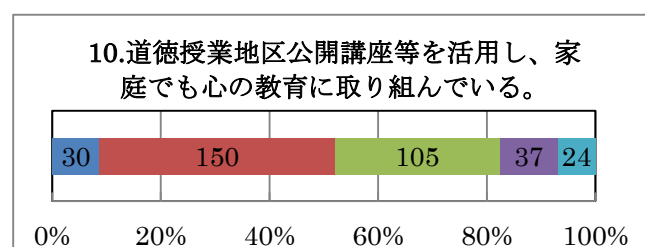
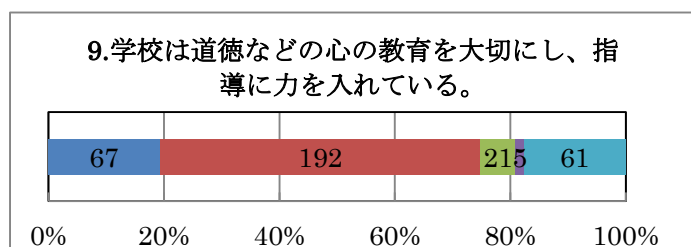
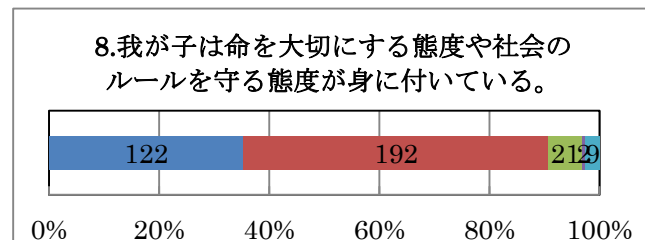
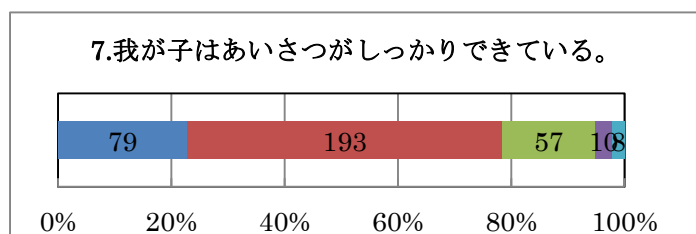
設問1の「確かな学力の向上」については、低学年の算数の授業に講師が入り、担任と講師による習熟度別少人数指導を行いました。また、3年生以上の算数の授業でも担任と算数の少人数担当教員による習熟度別少人数指導を行いました。また、学習指導支援員が算数と国語の授業でチームティーチングを行い、より一層個に応じた指導を行いました。残念ながら「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせて80ポイントに届かなかったので、来年度は他の教科や領域においても、指導方法や指導形態の工夫をしたり、きめ細かい対応をしたりして、さらに教育成果が上がるようにしてまいります。

設問2の「基礎的基本的内容の定着」については、おおむねよい評価をいただきました。今年度は、3年生以上の全児童が各学年の算数の「東京ベーシックドリル」の診断シートを活用し、卒業までに全員が合格することを目標に取り組んできました。算数の授業や放課後学習支援の「ぐんぐん教室」等の時間を使い、全員が診断シートをクリアすることができました。わからないままになっていた問題や苦手意識をもっていた問題に納得のいくまで取り組むことができました。担任や学習指導支援員や地域ボランティアの方々が個に応じた指導・支援を行い、基礎・基本の定着に効果を上げることができました。

設問3の「考える、話す・聞く、表現する力」等の力の育成については、今年度も「自分の思いや考えをもち、人とのかかわりの中で、広げ深められる児童の育成」を研究主題とし、国語の学習を中心に「話すこと・聞くこと」について校内研究を進めてまいりました。来年度も引き続き研究を深め、学習の過程で対話の仕方や話し合いの仕方のモデルを提示して練習したり、グループでの話し合い活動の場を意識的に計画して取り組んだり、学習シートを活用したりし、児童の考える、話す・聞く、表現する力をさらに向上できるように努力してまいります。

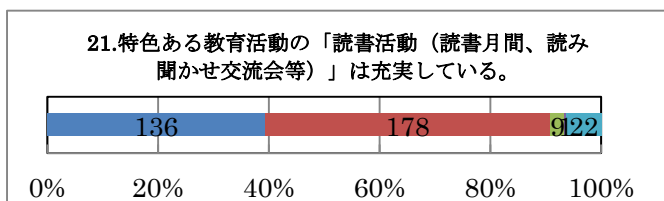
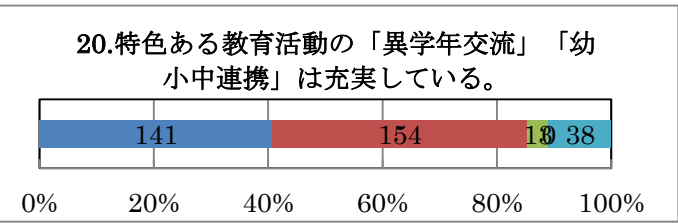
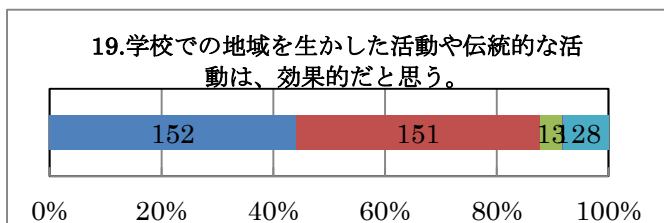
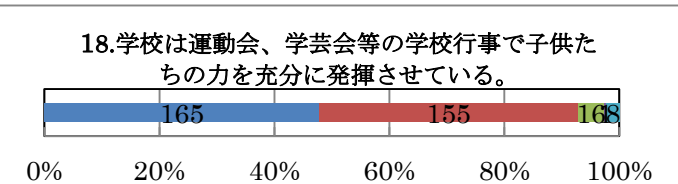
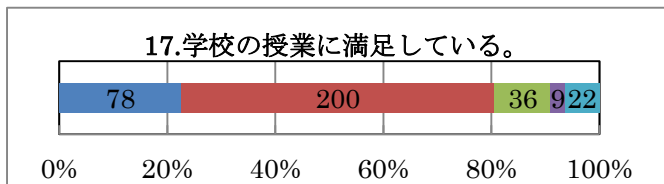
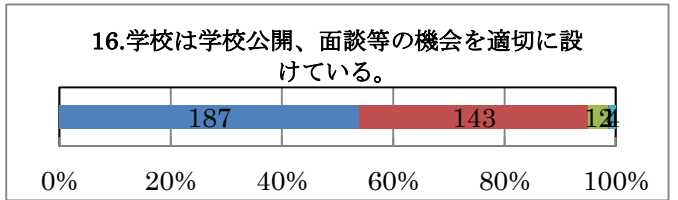
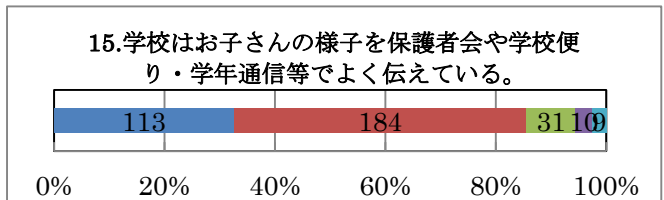
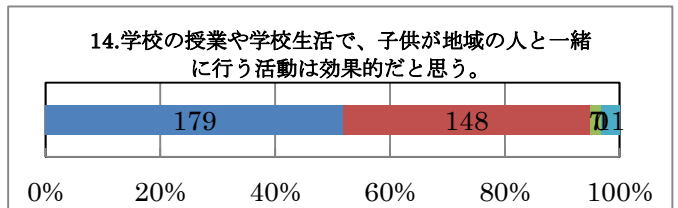
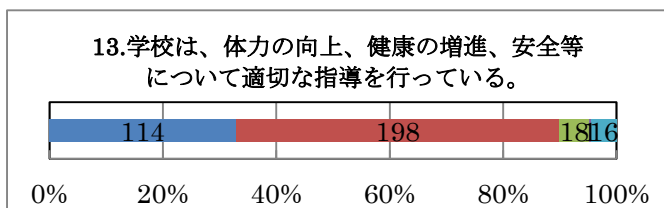
設問5の「ICT 機器を活用した授業」については、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせたポイントが昨年度より5ポイントアップしましたが、「わからない」というご意見もまだ多数みられたので、日ごろから積極的にICT機器の活用を図り、児童や保護者の方々にもその「よさ」が実感できるように、教師がプロジェクターを使い工夫して資料を提示したり、児童が学習の過程やまとめ、発表などでICT機器を活用したりできるようにしていきます。また、ICT機器のより効果的な活用に向けて、実物投影機の投影を鮮明にするための遮光カーテンの購入を検討しています。

設問6の「通知表」については、概ねよい評価をいただきました。これからも、児童の学力や生活の様子をわかりやすくお伝えしていきます。



《傾向と分析、新年度方針について》7～12の項目について

設問8と12の項目については、概ね良い評価をいただきました。9月に実施したセーフティ教室では、各学年の児童が発達段階に応じた安全対策について学びました。これからも命を大切にする態度や社会のルールを守る態度を児童が身に付けられるように保護者の方々や地域の方々とも連携しながら指導・支援してまいります。この時に、4、5、6年生を対象に実施したインターネットアドバイザーによる出前授業や10月に5年生を対象に実施したインターネットサービスプロバイダを主力事業とする電気通信事業者の出前授業では、携帯電話やインターネットの正しい利用の仕方や気を付けなければいけないこと等の学習をしました。保護者会でも、児童の携帯電話やインターネットの使用状況についての情報交換をし、引き続き家庭への啓発を図っていきたいと思います。設問7の「あいさつ」については、挨拶指導をする際に、形だけの挨拶ではなく、挨拶をされた人のうれしい気持ちを伝えるように指導しています。今後も、挨拶によって人と人との心のつながりが広がることが実感できるように、心の内面を大切にしたい指導を心がけていきます。設問9の「心の教育」については、道徳をはじめ全教育活動を通して取り組んでいます。3月には、6年生が地雷廃絶による平和の授業を通して命の大切さについて学習する予定です。設問10については、道徳授業地区公開講座の講師の方によるご講演を児童の授業の中に組み込んで開催しています。たくさんの保護者の方や地域の方々に参観していただけるよう、「豊かな心の発表会」も同時開催しました。来年度も道徳授業地区公開講座や道徳の授業、学級活動等で、心の教育のきっかけとなる事柄や参考資料等を提示してまいります。どうぞ家庭でも心の教育に取り組んでいただけますようお願いいたします。設問11「いじめ等への対応」については、今年度から「hyper-Qu」を活用して児童の人間関係や児童が抱えている悩みなどを把握して、いじめの早期発見、早期対応をしていじめ撲滅に努めてまいりました。次年度はS.C とのつながりを強くし、子供一人一人の悩みに対応してまいります。



《傾向と分析、新年度方針について》設問13～21についての項目も大変よい評価をいただきました。特に学校評価の項目で一番良い評価をいただいた設問16(「あてはまる」

